

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和4年7月4日(2022.7.4)

【公開番号】特開2021-3608(P2021-3608A)  
 【公開日】令和3年1月14日(2021.1.14)  
 【年通号数】公開・登録公報2021-002  
 【出願番号】特願2020-168622(P2020-168622)  
 【国際特許分類】  
   A 6 3 F 7/02(2006.01)  
 【FI】  
   A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】  
 【提出日】令和4年6月24日(2022.6.24)  
 【手続補正1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0006  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0006】

20

本発明は、上記の課題を解決するために以下の構成を採用した。

本発明に係る遊技機は、動作可能な可動体と、前記可動体に設けられた発光手段と、始動条件の成立に基づいて、遊技者にとって有利な特別遊技を実行するか否かを判定する判定手段と、図柄を変動表示させてから前記判定手段の判定結果を示す図柄を停止表示させる図柄表示手段と、変動表示中の演出を制御する演出制御手段と、を備え、前記演出制御手段は、前記可動体を模した示唆表示を表示手段に表示可能であり、第1位置に表示された前記示唆表示を第1方向に移動表示させることによって、前記示唆表示を前記第1位置から第2位置へと移動表示させることが可能な第1経路と、前記第1位置とは異なる第3位置に配された前記可動体を、前記第1方向とは異なる第2方向に移動させることによって、前記可動体を前記第3位置から前記第2位置へと移動させることが可能な第2経路と、を備え、前記第1経路に沿って前記示唆表示を前記第1位置から前記第2位置へと移動表示させてから、前記第2経路に沿って前記可動体を前記第3位置から前記第2位置へと移動させ、前記発光手段は、前記可動体が前記第3位置と前記第2位置との間である所定位置にあるときは消灯状態であり、前記可動体が前記第2位置にあるときは点灯可能状態である。

30

【手続補正2】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項1】

40

動作可能な可動体と、前記可動体に設けられた発光手段と、始動条件の成立に基づいて、遊技者にとって有利な特別遊技を実行するか否かを判定する判定手段と、図柄を変動表示させてから前記判定手段の判定結果を示す図柄を停止表示させる図柄表示手段と、変動表示中の演出を制御する演出制御手段と、を備え、

50

前記演出制御手段は、前記可動体を模した示唆表示を表示手段に表示可能であり、第1位置に表示された前記示唆表示を第1方向に移動表示させることによって、前記示唆表示を前記第1位置から第2位置へと移動表示させることが可能な第1経路と、前記第1位置とは異なる第3位置に配された前記可動体を、前記第1方向とは異なる第2方向に移動させることによって、前記可動体を前記第3位置から前記第2位置へと移動させることが可能な第2経路と、を備え、前記第1経路に沿って前記示唆表示を前記第1位置から前記第2位置へと移動表示させてから、前記第2経路に沿って前記可動体を前記第3位置から前記第2位置へと移動させ、前記発光手段は、前記可動体が前記第3位置と前記第2位置との間である所定位置にあるときは消灯状態であり、前記可動体が前記第2位置にあるときは点灯可能状態である、遊技機。

10

20

30

40

50